

令和3年度
介護職対象
認知症
専門職研修
(中級・指導者編)
実施報告

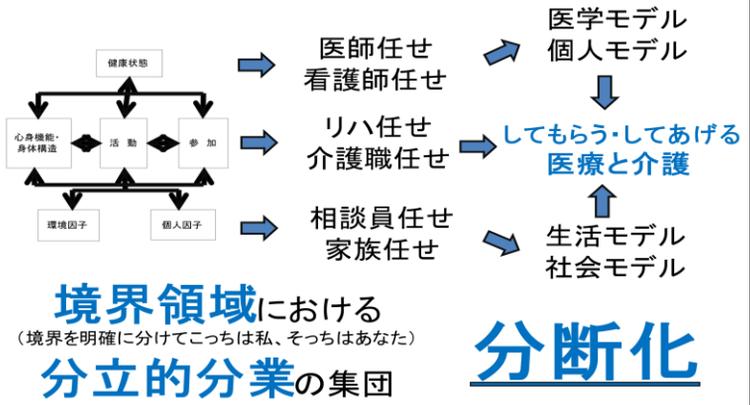


本研修は、千葉県認知症専門職研修体系構築事業として「千葉の介護が輝く会」から本会が引き継いだ研修で、令和元年度に「初級編」を実施したものの、令和2年度に計画した「中級・指導者編」は多くの方の申し込みをいただいたにもかかわらず、新型コロナウイルスの感染拡大により延期・中止となりました。その後も予断を許さない状況は続きましたが、今回は感染対策を一層強化したうえで、主に昨年度申し込みをいただいた方を対象にオンライン形式と集合形式を組み合わせて実施しました。

第1日目の「現場で役立つ医学的知識」では、秀野武彦講師（浅井病院・認知症疾患医療センター長）より「認知症ケアは介護職だけが行うものではない。専門的な知識や技術を用いながら原因と結果を考え、相手の利益を高めるために最も適した行動をとる必要がある」、そのためには「高齢者の特徴や認知症の特徴を理解して、できれば個別に先回りして対応できることが望ましいが、そのためには知識を獲得する必要がある。また世の中がどのようなようになっていくかを知る必要がある。」の前置きから、老年症候群、認知症の中核症状とBPSD、リスクマネジメント、認知症ケアと薬についてなど、統計資料などを基に分かりやすく講義していただき、多くの知識を得ることができました。

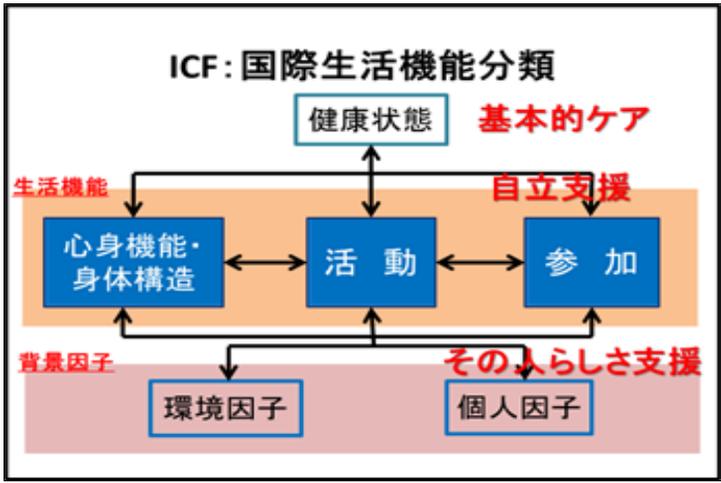
続いて、椎名淳一講師（当会会員）による「認知症ケアにおける介護の専門性」、松下やえ子講師（当会会員）による「認知症の人における人権と法律」で、受講者は認知症ケアに関わる自分自身を見つめました。研修の中盤では、内川薫講師（つつじ苑・介護課長）、竹内美佐子講師（タムス浦安病院・看護部長）、乾麻由美講師（認知症の人と家族の会・世話人）、竹内正人講師（タムス浦安病院・リハビリテーション部）より、「キャリア形成」「認知症のタイプ別ケア分類と基本的ケア」「家族の思いを理解する介護家族支援」「多職種連携の実践」「リーダーシップとマネジメント」について具体的に実践につながる学びを得ることができました。

こんなことになっていませんか..



(図1)

(2ページへ続いています)



(図2)

「ICFと自立支援、介護過程の考え方」では、竹内正人講師より、生活や人生を支援する上での現状の課題（図1）が提起され、秀野講師と同様に、分断化の必要性が示唆されました。そのうえで、事例に基づき、ICFの構成要素（図2）に沿って、医学的知識を含めた利用者の全体像を把握する考え方を再確認し、認知症ケアのみならずケア全般に求められる介護過程の展開に基づく個別ケアと自立支援の考え方（図3）を再認識する学びとなりました。

「生活や人生の支援」とは

- 1) 「その人らしき支援をして、
- 2) 「基本的ケアを実践し、
- 3) 「自立支援」をしていくこと。

(図3)

研修終盤（指導者編）の「認知症の重症例」の「自施設の事例を用いた介護過程の展開」では、感染対策に配慮したロールプレイやグループワークを通して、場面設定された前頭側頭型・アルツハイマー型・レビー小体型認知症の重症例や自施設の事例について実践的学びを得ました。受講者は認知症の人の体験している世界や自身や自職場のケアの課題発見につながりました。

竹内正人講師より『認知症ケアには、私たちケアスタッフ自身の「人間的成長と学習」「人間の深い理解」が必要です。私たちは、「生活と人生を支援する専門職」です。仕事を通して、人間の成長ができて、心を磨いていくことができてくるのは素晴らしいことだと思います。』という介護職への熱いエールをいただき、改めて対人援助職の素晴らしさを実感する研修となりました。締めくくりは、ホットでポジティブな村越洋子講師（当会会員）の「働きやすい職場づくりのために」、受講者の表情には明日への活力が感じられました。

認知症の方とご家族の「より良い生活」「より豊かな人生」に向けて、修了者の皆様の地域での活躍を期待しています。

千葉県介護福祉士会 副会長

松下やえ子

令和3年度
介護職対象
認知症専門職研修
(中級・指導者編)を
受講して

7月22日から8月25日の期間、計5日間の研修に参加しました。昨年度は残念ながら中止となり、今回の開催を心待ちにしていました。感染症対策で非常に配慮が必要なこの状況の中、無事に研修を受けられたことについて、主催委員会、ブロック、講師の先生方に大変感謝しています。

令和元年度に受講した初級編に続き、さらに中級編、指導者編では、先生方の熱のこもったプログラムが重層的に進んでいきます。認知症の病因や特徴、体調管理面や薬への知識、その人を中心とした関わり方やその人の尊厳、当事者や家族が経験する状況等、それらの理解を深め、介護の専門職としてどう対応していくのか、また、それを行う上での多職種協働や現場でのリーダーシップ等、雰囲気作りやコミュニケーションスキルについても、詳しく教えていただきました。後半では、徹底的にICFと介護過程の展開が行われ、ファイルに挟みきれない程度のプリント資料とともに惜しみなく説明が続きました。

今回、講師の先生方からの介護職に対する期待、知識や技術をさらに磨いて欲しいという想いを非常に強く感じました。実際に相当大変な内容で疲れましたが、たくさんの気付きが得られ、本当に有意義といえる研修を受講することができました。研修内容をすぐに生かすことはまだ難しいかと思えます。でも、新たな視点を持つことができました。この研修で身につけたこと、今後に分活かしていきたいです。

千葉県介護福祉士会 南部ブロック長

石川 正章

研修アンケートより

医学的な方面からの解説でもとても分かりやすくよかったです。薬の弊害など、気を付けなくてはと思いました。ひもときシートは施設でも活用できそうです。

脳活性化リハ5原則、「あなたがいてくれて嬉しい」を実践したいです。

介護者のための介護にならないよう人権を守って共に生活している一人として。施設に持ち帰り実践できる内容で、とても勉強になりました。本日の内容を職員に伝え、活かしていきます。

ロールプレイを行って、感情は合わせ鏡というところが実感できました。

リハビリの視点からも教えて頂き、とても勉強になった。

指導する人の気持ち、利用者様の気持ちを知らないことが大事。物の見方がまだまだできていない自分に気づきました。

働きやすい職場の特徴を知ることができた。コミュニケーションが基本であると同時に相手の立場になって考え、接することはご利用者への関わり方にも繋がることだと感じました。

緊急事態宣言下の研修でしたので不安もありましたが、感染予防の対策や細やかな配慮が多々あり、安心して受講することができました。ありがとうございました。送り返してくれた自職場に学んだことを持ち帰り、認知症の人の生活をより良くできるよう励みたいと思います。



介護福祉職員への期待とキャリア形成
『自己の成長にむけて、自分みがき
（自己研鑽）していますか？』

講師 千葉県介護福祉士会

八須 祐一郎 会長

「私たちは、介護福祉士資格取得がゴールだと思っていないませんか？」

介護福祉士は、加齢や疾病などによって、心身の不自由さを生じている利用者の生活をより良くするためにサポートすることが求められます。利用者の生活歴や環境がそれぞれ違う中で、信頼関係を構築し、やる気スイッチを探り、個々に適したアプローチから心身機能の維持向上や生活の質の向上をしていきます。それには長年の経験や勘だけではなく（それも大切だが）、根拠に基づいた知識と感覚が必要です。施設介護では、個別性を大切にしながらチームで関わることや在宅介護では、家族のサポートや地域の中で生活を楽しめるような支援も求められます。介護福祉士に求められる専門性や役割は、増々多様化し、常に学び続ける必要があります。故に介護福祉士取得が「ゴール」ではなく「スタート」なのです。

日本介護福祉士会 及川会長は、『介護福祉士は、国民が安心できる社会生活を保障』と述べ、介護福祉士のキャリアアップと生涯研修制度は、複雑化、多様化するニーズへの対応に、質の高いケアの提供ができることを理念としていると説明しています。また、前会長である石本氏は『介護福祉士の未来は介護福祉士自身が切り開く』という自覚と行動が大切だと述べられていたことから、資格取得後も自己研鑽を継続し、生涯研修として専門学術研修・研究大会などの研修参加や様々な活動を行い、介護福祉士が明るく期待感を持って働くことができる介護業界づくりを目指していると伝えていきます。

是非、皆様の職場の方にも介護福祉士会の研修や入会をお誘い頂ければと思います。

まずは、自身の今までのキャリア形成を振り返り、将来のキャリア形成をイメージし、そこに向けた自己研鑽をしていくこと。自分には何が出来るか（能力）、何をやりたいか（欲求）、何に価値観があるか。それらをリンクし、モチベーションを上げて行動に繋げていく。自身のキャリア形成も介護過程も「P D C A サイクル」が重要である。といった八須会長の講義を頂き、「G R O W モデル」を用いた個人ワークとグループワークを行いました。

普段、コロナ禍という経験のない緊張感の中で、日々業務に追われ、自身のキャリア形成などを考える余裕がありませんでした。本研修を受講してみて、感染の危険性のないオンライン研修という環境で、今だからできる新しい形で自分磨きに挑戦していきたいと思いました。

報告者 広報委員会 寺本

研修・講演会等案内

（詳細は当会HPや別紙案内ををご覧ください）

「令和3年『介護の日』記念講演会

一人ひとりの多様性と価値を認める社会創り
テーマ みんな言葉を持っていた・代弁する責務」

千葉県介護人材確保対策推進事業（申請）
記念講演会：国学院大学 人間開発学部初等教育学科

教授 柴田保之氏

『みんな言葉を持っていた』

『輝くんの言葉を引き出せて』

フロアデイスカッション

『共生社会とアドボカシー』

日時 令和3年11月7日(日)

13:00～15:20 受付12:30～

参加費 無料 参加定員 70名

「令和3年度 介護福祉士国家試験受験対策
模擬試験及びミニ講座」

※各回、模擬試験終了後に60分程度のミニ講座（自由参加）を実施します。

日程

A：中央法規・模擬試験

*問題は、第1回と第2回は別々の問題です。

①第1回 令和3年10月16日(土)

受験料：5,500円

申込締切：令和3年10月2日(土)

②第2回 令和3年11月13日(土)

受験料：5,500円

申込締切：令和3年10月30日(土)

③①②セット受験：(第1回・第2回)

受験料：9,900円

申込締切：令和3年10月2日(土)

B：日本介護福祉士会・全国一斉模擬試験

令和3年12月4日(土)

受験料：4,300円

申込締切：令和3年10月25日(月)

C：「赤マル福祉」直前模擬試験

令和4年1月8日(土)

受験料：会場3,000円 自宅3,400円

申込締切：令和3年12月25日(土)

会場：ABC共に「千葉県社会福祉センター」

北総ブロック 第2回オンライン研修会

「VR高齢者住まい看取り研修会」

千葉県介護人材確保対策推進事業（申請）

講師 株式会社シルバード

日時 令和3年11月13日(出)

13:00～17:00 受付12:30～

参加費 無料 参加定員 50名

「令和3年度介護職種の技能実習指導員講習」

会場 千葉県経営者会館 6階大ホール

日時 令和3年12月11日(土)

9:30～17:55 受付開始8:45

受講費 無料 参加定員 40名

※受験対象者の指定があります。

一般社団法人
千葉県介護福祉士会

〒260-0026

千葉市中央区千葉港4-3

千葉県社会福祉センター3階

TEL: 043-248-1451

FAX: 043-248-1515

○事務所の電話受付

月～金曜日、9～16時となっております。時間外及び土・日・祝日に開催される研修会等のお問い合わせについては、留守電にて対応しております。どうぞよろしくお願いいたします。

E-MAIL:

kai5niji@poem.ocn.ne.jp



ホームページ:

<http://care-net.biz/12/kai5chiba/>


↑ ↑ ↑

こちらから研修時の感染予防対策や健康チェックシートを印刷できます。

編集: 広報委員会・広報委員長

知りたい情報等がありましたら、上記メールアドレスにお知らせください!


<https://www.facebook.com>

/千葉県介護福祉士会-1866986893408630/



千葉県介護福祉士会 会員数

2021年9月1日現在 693 名

東葛ブロック	182 名
千葉ブロック	142 名
北総ブロック	174 名
君津・安房ブロック	68 名
東部ブロック	85 名
南部ブロック	42 名

事務局だより



賛助団体 八団体(敬称省略)

社会福祉法人 生活クラブ
生活クラブ風の村 特養ホーム八街
社会福祉法人 翠耀会
特別養護老人ホーム グリーンヒル
東洋羽毛北関東販売 株式会社
社会福祉法人 九十九里ホーム
障害者支援施設 聖マーガレットホーム
社会福祉法人 広寿会
特別養護老人ホーム いすみ苑
株式会社 ジェイシー教育研究所
社会福祉法人 オリリーブの樹
オリリーブハウス
医療法人社団 一心会 初富保健病院
初富保健病院介護医療院

承諾を得て団体名を掲載させて頂きました。いつも本会運営についてご理解、ご協力頂きまして、心より感謝申し上げます。

当会には現在20歳から84歳までの会員により支えられています。特に60歳以上のベテラン会員が継続して頂いていることに感謝しております。現在、青年部運営委員会が発足して2年目になりますが、青年部に負けず、今後ベテラン会員の集いも計画する予定でいます。

研修会の在り方もオンラインが中心となり、対面研修がままならない状況ではありますが、ベテラン会員の知識と経験を発揮して頂けるよう、当会の活動に参加され、どうかお知恵をお貸しください。

今後ともよろしくお願いいたします。
(事務局長 高橋)

○口座振替のお願い
千葉県介護福祉士会では、年会費を口座振替としています。口座振替がまだの方は口座登録をお願いいたします。口座登録の用紙は、事務局までご請求下さい。